記者発表資料



令和４年　１１月　２５日

東　北　地　方　整　備　局

国土交通大臣が優れた地域づくりを認定！

～令和４年度手づくり郷土賞に弘前市の「SHIROFES.」が選定されました～

本日、令和４年度「手づくり郷土賞」（国土交通大臣表彰）の選定及び受賞記念発表会について、国土交通省総合政策局において記者発表されましたのでお知らせいたします。

詳細については別紙を参照ください。

東北管内からは、

〇青森県弘前市で弘前公園の魅力を発信するダンスの世界大会や津軽三味線などの弘前の伝統文化を体験できるダンス&パフォーマンス複合フェスティバルの開催等を行っている『SHIROFES.（ひろさき芸術舞踊実行委員会）』が一般部門で選定されました。

また、東北管内からの受賞は２年ぶりの受賞となります。なお、青森県内での受賞は１７年ぶりの受賞となります。

今後、受賞記念発表会を１２月１８日（日）に開催いたします。詳細については別紙を参照ください。

また、手づくり郷土賞の認定証授与式を予定しております。日程等の詳細は未定ですので決まり次第お知らせいたします。

※手づくり郷土賞とは昭和６１年度に創設され、令和４年度で３７回目の開催となる国土交通大臣表彰です。 地域づくり活動によって地域の魅力や個性を生み出している良質な社会資本とそれに関わった団体のご努力を表彰するものです。また、これらの好事例を広く紹介することで、各地で構成的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が一層推進されることを目指しています。

＜お知らせ先　青森県政記者会、宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会＞

国土交通省　東北地方整備局　０２２－２２５－２１７１（代表）

企画部　企画課長補佐　阿保（あぼ）　和徳（かずのり）（内線３１５６）

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

同時発表：北海道開発局、各地方整備局、
内閣府沖縄総合事務局

令和４年１１月２５日
総合政策局公共事業企画調整課
大臣官房公共事業調査室

令和４年度 手づくり郷土（ふるさと）賞（国土交通大臣表彰）１７件を選定！

～１２月１８日に受賞記念発表会を開催～

国土交通省は、社会資本と関わりをもつ地域づくりの優れた取組を推進するため、全国各地から応募のあった活動の中から、１７件（一般部門１６件、大賞部門１件）の優れた活動を令和４年度の「手づくり郷土賞」として選定しました。

また、受賞記念発表会を１２月１８日に開催します。

■令和４年度「手づくり郷土賞」の選定

１１月１０日に有識者による選定委員会を開催し、全国各地から応募のあった３５件（一般部門２９件、大賞部門６件）の中から、優れた活動１７件（一般部門１６件、大賞部門１件）を「手づくり郷土賞」として選定しました。　※活動の詳細は、資料１、資料２をご覧ください。

今後、各地方整備局等を通じて、受賞団体への認定証の授与が行われます。詳細については、改めて各地方整備局のホームページ等でお知らせします。

■令和４年度 手づくり郷土賞 受賞記念発表会の開催

全国に優れた取組が広がることを目的に、手づくり郷土賞の受賞者から活動の紹介を行って頂く発表会を開催します。

１．日　時：令和４年１２月１８日（日）１３時００分～１６時１５分（予定）
２．場　所：東京国際交流館プラザ平成　３階　国際交流会議場（東京都江東区青海 2-2-1）
３．内　容：　１）令和４年度の受賞団体による活動プレゼンテーション
　　２）ベストプレゼン賞の決定
４．参加申込み
・会場観覧またはオンライン視聴によりご参加いただけます。
・会場観覧ご希望の方は、１２月９日１７時までに申込みが必要です。
（会場観覧定員 200 名）※定員になり次第、締め切らせていただきます。
・オンライン視聴は申込不要ですが、
ＣＰＤ単位取得をご希望の方は事前にお申込みください。
※建設コンサルタンツ協会 CPD・土木学会 CPD・都市計画 CPD の認定プログラム申請中
・申込み・オンライン視聴はこちらのサイトから → https://tedukuri-furusato.jp
二次元コード（QR）からもアクセスできます。

○問い合わせ先
国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課　武田、神野
TEL　03-5253-8111（内線 24563、24535）、03-5253-8912（直通）　FAX　03-5253-1551

資料1

令和4年度　手づくり郷土賞　選定結果

＜一般部門：１６件＞

No	地整等	都道府県	市区町村	応募案件名	応募者	
					地域活動団体	社会資本管理団体
1	北海道	北海道	鶴居村	”美しい村”鶴居のサイクルツーリズム ～牧歌的風景を活かしたサイクリストの聖地へ～	特定非営利活動法人 美しい村・鶴居村観光協会	－
2	東北	青森県	弘前市	SHIROFES.	ひろさき芸術舞踊実行委員会	－
3	関東	山梨県	北杜市	環境保全活動「防災思想の普及と渓流環境の保全」	甲斐駒清流懇話会	－
4		長野県	長野市	歴史的文化遺産を活かした地域振興とまちづくり ～住民主体のまちづくり～	特定非営利活動法人 夢空間松代のまちと心を育てる会	－
5	北陸	新潟県	新潟市	新潟の水辺・鳥屋野潟の持続可能な郷土づくり	新潟市南商工振興会	－
6		新潟県	上越市	地域のお宝「くびき野レールパーク」 ～よみがえった頸城鉄道～	特定非営利活動法人 くびきのお宝のこす会	－
7	中部	岐阜県	多治見市	地域と連携・協力した安全で豊かな都市山麓づくり	市之倉森づくり部会	－
8		静岡県	三島市、沼津市	松毛川「千年の森」再生プロジェクト	特定非営利活動法人 グラウンドワーク三島	－
9	近畿	京都府	京都市	小倉山森林再生プロジェクト ～地域の人の輪よるアカマツの再生～	景勝・小倉山を守る会	－
10		京都府	南丹市	～椋の木の下に集落内外の人が集う野菜市～ 天引むくむく市と活性化の歩み	天引区の活性化と未来を考える会	－
11		大阪府	柏原市	放置された森と森林資源を利活用して「里山の森づくり」	かしわら森の会	柏原市
12	四国	徳島県	阿南市	最古の四国遍路道を活かす ～歴史的遺産の魅力を発信して地域活性化～	加茂谷へんろ道の会	阿南市
13	九州	佐賀県唐津市　～ 福岡県北九州市		街道遺産発見の旅 ～歩く唐津街道の旅人と標識設置活動	玄界灘風景街道・歩く唐津街道の旅	－
14		熊本県	山鹿市	菊池川をフィールドとした子供たちとの体験学習会 ～見なれた自然から驚きと感動を～	特定非営利活動法人　菊池川自然塾	－
15		大分県	中津市	山国川の美しい景観と歴史文化を守り伝える ～地域が連携した観光ガイド～	中津の郷土史を語る会、 中津の歴史と文化を学ぶ会、 三光観光ボランティアガイドの会、 本耶馬渓町観光ボランティアガイドの会、 耶馬渓歴史観光案内人の会、 やまくにの歴史と文化を学ぶ会	－
16	沖縄	沖縄県	浦添市	市民協働による西海岸・里浜の保全活用 ～時空を超え未来につなぐ、古里の記憶～	一般社団法人 うらそえ里浜・未来ネットワーク	－

＜大賞部門：１件＞

No	地整等	都道府県	市区町村	応募案件名	応募者	
					地域活動団体	社会資本管理団体
1	北海道	北海道	斜里町	知床のガードレール雪かきプラス！ ～真冬の避難・命を守るまちづくり～	しれとこ・ウトロフォーラム21	北海道開発局 網走開発建設部

令和４年度　手づくり郷土賞　【一般部門】　認定案件概要（全１６件）　資料2

No. 1　（北海道・鶴居村）
“美しい村”鶴居のサイクルツーリズム
～牧歌的風景を活かしたサイクリストの聖地へ～


まちなかサイクリング
（ブドウ畑のある風景）


秋はタンチョウ見ながら、
サイクリングも

＜活動内容＞
鶴居村は観光資源に恵まれているが、観光による地域経済への波及効果が限定的なため、経済の活性化、観光客との交流による村民の郷土愛を育むことを目的として、サイクルツーリズムの推進に取り組む。村の景観や食を楽しむサイクルマップの作成や酪農体験等を用意するなどで観光客の滞在時間を延ばし、村民との交流機会を作っている。村内宿泊客向けに電動自転車を無料で貸出すモニターツアーでは、約2,500人の村で毎年200人以上の観光客が、村道や林道におけるサイクリングなどを楽しみ、村での滞在を満喫するなど、観光振興に寄与している。

＜地域活動団体＞
特定非営利活動法人　美しい村・鶴居村観光協会

No. 2　（青森県・弘前市）
SHIROFES.


弘前公園本丸に集まる多くの観客


弘前城を背景にパフォーマンス

＜活動内容＞
桜祭りで有名な弘前公園の魅力を世界に発信すべく、2016年より毎年開催している世界最大級のダンス&パフォーマンス複合フェスティバル。ダンスの世界大会を始めとした国内外の一流のパフォーマーによるダンスや音楽、アートなどのコンテンツに加え、津軽三味線、ねぷた囃子など弘前の伝統文化も体験できる。コロナ前の2019年には国内外から約1万人が参加。弘前公園内で撮影したパフォーマンス映像は世界中から注目が集まり再生回数は55万回を突破した。

＜地域活動団体＞
ひろさき芸術舞踊実行委員会

No. 3　（山梨県・北杜市）
環境保全活動「防災思想の普及と渓流環境の保全」


河川環境の整備（草刈り）


砂防校外授業での土砂災害模型実験

＜活動内容＞
昭和34年の台風による土石流災害で郷土を失った地域の復活とその災害の歴史を現代の地域住民に知らしめ、渓流環境の保全管理や豊かな自然を守る地域づくりを目標として平成11年に設立。地域の小学校の伝統行事となっている砂防校外授業（児童とその父兄約80名参加）、防災フェアー＆甲斐駒清流ウォーク、渓流祭り、河川環境の整備（草刈り）等を実施している。これらの活動により、地域の方の防災思想の普及と河川環境の向上につながっている。

＜地域活動団体＞
甲斐駒清流懇話会

No. 4　（長野県・長野市）
歴史的文化遺産を活かした地域振興とまちづくり
～住民主体のまちづくり～


松代の魅力・感動を伝える「まち歩き」


松代の歴史文化の学びの場「松代学講座」

＜活動内容＞
地元住民の参画を得て長野市が立案した「信州まるごと博物館構想」を実現するため、地元有志により平成13年6月に設立。町内に埋もれていた歴史的文化遺産を住民自らが参画して発掘し、磨き上げて見える化し、点在する地域資源を結びつけ、点から線に・線から面にと「まち歩きコース」を拡大（約40コース）。また、松代学講座の開催、まち歩き観光のための冊子やパンプレットの発行等により観光客が20万人（平成13年）から50万人（平成30年）へと大幅に増加するなど、地域活性化に寄与している。

＜地域活動団体＞
特定非営利活動法人　夢空間松代のまちと心を育てる会

No. 5　（新潟県・新潟市）
新潟の水辺・鳥屋野潟の持続可能な郷土づくり


にいがたカナール彩の様子


みなとまち新潟を伝える
水辺の利活用

＜活動内容＞
鳥屋野潟周辺のゴミ拾いの活動をきっかけに、昭和54年から活動を開始。「鳥屋野潟の自然環境を守っていきたい」「子供たちの笑顔と未来をつくりたい」という想いを掲げ、平成12年から「にいがたカナール彩」を開催。カナール彩では、水辺アクティビティなどにより、新潟の自然環境を五感で感じてもらう取組を実施。活動には、地元学生が参画するなど地域全体でコミュニケーションを図りながら、「持続可能な郷土づくり」を行っている。これにより、コロナ禍以前は、毎年5万人を超える参加者を集め、地域活性化への寄与とともに、新潟の魅力を次世代に繋げている。

＜地域活動団体＞
新潟市南商工振興会

No. 6　（新潟県・上越市）
地域のお宝「くびき野レールパーク」
～よみがえった頸城鉄道～


山中から車両を搬出し復元


体験乗車会

＜活動内容＞
地域の歴史・文化遺産である、1971年に廃線となった「頸城鉄道」や豪農屋敷の「瀧本邸」の保存や施設を活用した地域興しを行うため、地元有志により平成14年より活動を開始。平成16年に会を発足。平成19年NPO法人を設立。頸城鉄道の機関庫跡地を利用して線路や保存車両の動態復元を行い、平成20年10月に「くびき野レールパーク」をオープン。定期的に無料の一般公開・乗車体験の実施や地元小学生等へ体験学習を行うなど、コロナ禍以前は、県内外から毎年2,500人以上の来訪者による交流・関係人口の拡大、地域の歴史・文化遺産の継承の他、地域活性化に寄与している。

＜地域活動団体＞
特定非営利活動法人　くびきのお宝のこす会

令和４年度　手づくり郷土賞　【一般部門】　認定案件概要（全１６件）

No. 7　（岐阜県・多治見市）

地域と連携・協力した安全で豊かな都市山麓づくり


樹林整備（倒木処理）


小学校行事への協力（記念撮影）

＜活動内容＞
平成15年、国土交通省が中心となり、地元自治体や地域住民と共同し、「土岐川流域グリーンベルト整備事業」をスタート。多治見市市之倉地区において樹林整備活動を行うため、平成15年に発足。「おりべの森」「どんぐりの森」「やすらぎの森」「筒小屋の森」において、除草、樹林整備、ベンチの製作、散策道・階段の整備の他、保育園や小学校の行事への協力などを実施。これらの森は、隣接する保育園や小学校が遊び場・学習の場として利用するほか、地域住民がウォーキングで利用しており、地域にとって大切な場所となっている。

＜地域活動団体＞
市之倉森づくり部会

No. 8　（静岡県・三島市、沼津市）

松毛川「千年の森」再生プロジェクト


放置竹林の伐採


地元大学生による植林体験

＜活動内容＞
松毛川では河畔林の枯死・倒木、放置竹林の拡大、ゴミや産業廃棄物の投棄など放置化・荒地化が問題となっており、河畔林を再生するため、平成11年に発足。放置竹林の伐採、伐採跡地への潜在自然植生の植林、苗木の保全活動を中心に環境再生活動を実施。また、これら環境再生活動を高校や大学、企業の実習・研修の場として活用。原風景の森が再生され、河畔林・川面・富士山の眺望が楽しめるようになり、県内外から、自然散策やバードウォッチングに多くの人が訪れている。

＜地域活動団体＞
特定非営利活動法人グラウンドワーク三島

No. 9　（京都府・京都市）

小倉山森林再生プロジェクト
～地域の人の輪よるアカマツの再生～


森づくり活動


地域イベント　しめ縄作り

＜活動内容＞
歴史的風土特別保存地区にも指定された百人一首でも有名な嵯峨嵐山の森林景観を再生するために、平成25年から毎月第一金曜日に地域団体、住民が20人程度で小倉山の除伐等維持管理活動や、森林環境教育活動を行っている。
参加の輪を広げるイベントとして、地元の人が講師になり、間伐した材を使っての彫刻づくりや小倉山のキノコ探しなど、子供達や、その若い世代の親に地域の自然や歴史を伝える取り組みを年に4回程度実施し、地域風土の価値を知ってもらいながら、連携し維持保全活動の輪を広げている。

＜地域活動団体＞
景勝・小倉山を守る会

No. 10　（京都府・南丹市）

～椋の木の下に集落内外の人が集う野菜市～
天引むくむく市と活性化の歩み


「天引むくむく市」


「天引ほたるコンサート」

＜活動内容＞
2012年に全住民＋出身者有志で、「天引区の活性化と未来を考える会」を結成。国道372号を利用し、地域活性化として、2016年に野菜販売所「天引むくむく市」を開催。月2回（第2.4日曜日）定期開催を続けている。2013年より毎年、蛍散策と音楽を中心とした「天引ほたるコンサート」を実施。（令和2年よりコロナで自粛しているが終息すれば再開予定。）
近年は高齢者が村で生活できるよう、「買い物支援サービス」や「便利屋さん」制度をスタート。空き家を活用し、移住者を増やすためのプロジェクトチームを立上げ、取り組みを進めている。

＜地域活動団体＞
天引区の活性化と未来を考える会

No. 11　（大阪府・柏原市）

放置された森と森林資源を利用して「里山の森づくり」


森林整備活動


「いぶらの森の音楽会」

＜活動内容＞
自然観察や森林体験ができる憩いの場を増やすため平成31年から、市の公園区域の一部の荒廃した森林の整備に取り組んでおり、整備に伴い発生した伐木・間伐材を有効利用してベンチを設置するなど、循環型の整備に心がけて活動している。
また、整備した森林の地形を活かし、手作りのステージで「森の音楽会」や、「紙芝居」、「森でネイチャーゲーム」などのイベントも数々行っており、将来を担う子供達をはじめ、市民や他市からの来訪者にも「里山の森」として親しんでもらえるように取り組んでいる。

＜地域活動団体＞
かしわら森の会

No. 12　（徳島県・阿南市）

最古の四国遍路道を活かす
～歴史的遺産の魅力を発信して地域活性化～


市道等清掃・整備活動


小学校の課外授業協力

＜活動内容＞
平成22年8月に遍路道として阿南市の「太龍寺道」が初めて国史跡「阿波遍路道」に指定され、阿南市等の整備により長期間廃道だった「かも道」の復活を機に、四国遍路最古の遍路道を活かすため、平成25年に発足。「かも道」「太龍寺道」「いわや道」の活用や遍路道の整備保存を行い、ガイド活動、広報活動、ウォークイベントの開催、小中学校等の学びの活動への参画など活動を活発に行い、様々な地域づくりの団体から整備・保全手法に関する視察が増加するなど、地域活動に寄与している。

＜地域活動団体＞
加茂谷へんろ道の会

令和４年度　手づくり郷土賞　【一般部門】　認定案件概要（全１６件）

No. 13　（佐賀県・唐津市～福岡県・北九州市）
街道遺産発見の旅
～歩く唐津街道の旅人と標識設置活動


150回記念歩き　唐津神社にて


唐津街道標識設置第1号
宗像市、赤間城山にて

＜活動内容＞
1996年から活動していたウォーキング団体が、歩く旅による健康増進、また旧街道筋の歴史資源の学習・活用、沿線地域との交流を目的に活動を開始。月1回（年12回）、街道を区切りながら歩き、「歩く旅プラス」として①資源マップ・参加グッズの製作販売②マイスター資格の授与③周年記念ウォーク、風景街道他ルートとの交流ウォーク④ゴミ拾い活動⑤唐津街道標識設置活動などに取り組んでいる。2022年には「150回記念旅」（120名参加）を開催し、これまで延べ3,600人の参加に至っている。

＜地域活動団体＞
玄界灘風景街道・歩く唐津街道の旅

No. 14　（熊本県・山鹿市）
菊池川をフィールドとした子供たちとの体験学習会
～見なれた自然から驚きと感動を～


「菊池川に住む魚たち」
子供たちが川に入り、魚の採取


「植物観察会」
採取した植物の名前を調べる

＜活動内容＞
菊池川の良さを子供たちにも知って欲しいという思いから、平成20年10月に菊池川自然塾を設立。小中高生を対象に、地質（化石、鉱物含む）・植物・動物・考古学・天体などに関する観察会と学習会を年10回程度開催している（令和元年度年間活動のべ人数200名以上）。学習会の企画・運営は菊池川自然塾が担い、河川や防災の講習は熊本大学や菊池川河川事務所に担ってもらい、子供たちの河川への興味・関心をつなげ、河川環境美化の高揚を図り、「若者が集い、切磋琢磨する場」を提供している。

＜地域活動団体＞
特定非営利活動法人　菊池川自然塾

No. 15　（大分県・中津市）
山国川の美しい景観と歴史文化を守り伝える
～地域が連携した観光ガイド～


まちなみ探検ガイド
郷土史を語る会



ウォーキングトレッキングイベント
耶馬渓歴史観光案内人の会

＜活動内容＞
山国川を中心に歴史と文化が息づく中津・耶馬渓において、地域住民みずからその歴史を学び、未来へ伝える活動を行うため昭和51年に「中津の郷土史を語る会」が設立。観光名所におけるガイド活動を行うほか、社会教育活動や高齢者の生きがいづくりなどの取り組みに協力し、年間延べ1000人以上が活動に参加。観光客に対し丁寧にわかりやすく、おもてなしの心づかいをモットーに、ガイド力の研鑽、情報収集だけでなく、遊歩道など環境整備や清掃活動なども行い、地域の観光誘致に貢献している。

＜地域活動団体＞
中津の郷土史を語る会、中津の歴史と文化を学ぶ会、
三光観光ボランティアガイドの会、本耶馬渓町観光ボランティアガイドの会、
耶馬渓歴史観光案内人の会、やまくにの歴史と文化を学ぶ会

No. 16　（沖縄県・浦添市）
市民協働による西海岸・里浜の保全活用
～時空を超え未来につなぐ、古里の記憶～


2019年日米共働ﾋﾞｰﾁｸﾘｰﾝ活動
（参加20団体、140名）


地元小学生向け自然観察会
（小学校協力、地元自治会、一社支援）

＜活動内容＞
平成17年より活動開始、平成31年に一般社団法人となり、市民、行政、企業、在沖米軍等多様な主体を繋ぐ中間支援団体として、主体的に、浦添西海岸地域の保全活動、利活用、ルール作りやその普及啓発に取り組む。海岸のﾋﾞｰﾁｸﾘｰﾝ、体験学習等実施、活動から得られた課題や経験に基づく環境保全に向けた利活用ルール作りや行政・審議会等への提言、各種媒体による広報・普及啓発活動を行っている。浦添市里浜条例制定に貢献。年間6回のﾋﾞｰﾁｸﾘｰﾝなどを実施、年間のべ200名～500名程度参加。

＜地域活動団体＞
一般社団法人うらそえ里浜・未来ネットワーク

令和４年度　手づくり郷土賞　【大賞部門】　認定案件概要（全１件）

No. 1　（北海道・斜里町）

知床のガードレール雪かきプラス！
～真冬の避難・命を守るまちづくり～


雪かき実施状況


地区防災計画意見交換会

＜活動内容＞
道路沿いの除雪後に生じる雪壁によって流氷景観が損なわれる課題を解決し、来訪者に流氷景観の魅力を提供するため平成19年度から雪かきボランティアを開始。活動によって流氷景観を楽しむ来訪者が増えたほか、参加者である地域住民や企業、観光客の一体感や道路に対する親しみを向上させている。参加者は年々増加し、平成28年度以降は毎年100人以上が参加している。平成30年度からは冬期避難訓練との連携実施をはかり、斜里町ウトロ地区の地域住民や観光客の防災意識を高め、冬の災害に対する備えの充実に貢献している。

＜地域活動団体＞
しれとこ・ウトロフォーラム21

参考資料１







全国の地域づくりに
関心のある方への
メッセージ

国土交通省大臣表彰
手づくり郷土賞

令和4年度

手づくり郷土賞（ふるさと）

受賞記念発表会

入場無料

令和4年12月18日（日）
13時00分～16時15分（予定）
東京国際交流館プラザ平成
国際交流会議場
東京都江東区青海2-2-1

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

◆「手づくり郷土賞」とは

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれらと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設され、令和4年度で37回目となる国土交通大臣表彰です。

◆手づくり郷土賞受賞記念発表会について

開催日時　令和4年12月18日（日）13:00～16:15（予定）

全国に優れた取組が広がることを目的に、第37回手づくり郷土賞の受賞者から活動の紹介を行って頂く発表会を開催します。

内 容：1）第37回（令和４年度）受賞団体による活動プレゼンテーション
　　2）ベストプレゼン賞の決定

※終了時間はプレゼンテーション参加団体数に応じて、変更になる場合がございます。

※プレゼンテーションは、当日会場で発表を行う「発表部門」と事前に撮影した動画による「動画部門」の2部門に分けて実施予定です。

お申込み方法

会場観覧またはオンライン視聴によりご参加いただけます。
・会場観覧をご希望の方は、下記サイトより事前にお申込みください。
・オンライン視聴をご希望の方は、下記サイトから視聴いただけます。
申込みは不要ですが、CPD単位取得※をご希望の方は下記サイトより事前にお申込みください。

こちらからも
アクセスできます▶

https://tedukuri-furusato.jp

※建設コンサルタンツ協会CPD・土木学会CPD・都市計画CPDの認定プログラム申請中

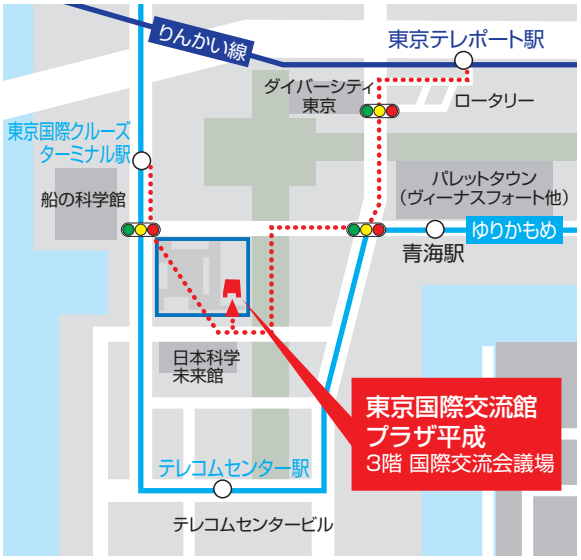
お申込み締切

令和4年12月9日（金）17時　会場観覧定員:200名

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

開催会場

東京国際交流館プラザ平成　国際交流会議場
所在地:〒135-8630 東京都江東区青海2-2-1
アクセス:ゆりかもめ「東京国際クルーズターミナル」東口より 徒歩約3分
　　りんかい線「東京テレポート」B出口より 徒歩約15分



お問い合わせ先

国土交通省　総合政策局　公共事業企画調整課
メール:hqt-tedukuri-sogo@gxb.mlit.go.jp
FAX:03-5253-1551

※送信するメールの件名は、「令和4年度 手づくり郷土賞 受賞記念発表会」の問い合わせとしてください。

前回の受賞記念発表会の様子



手づくり郷土賞の情報はこちら

手づくり郷土賞ホームページ
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/tedukuri/

手づくり郷土賞フェイスブック
https://ja-jp.facebook.com/mlit.tedukuri/

国土交通大臣表彰「手づくり郷土（ふるさと）賞」とは

参考資料2

◆手づくり郷土賞の概要

地域の個性・魅力を創出し、**良質な社会資本**及びそれと関わりをもつ**優れた地域活動**を広く**募集・発掘**し、これらを全国に広く紹介することにより、**個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的**として、昭和６１年度に創設された国土交通大臣表彰制度。令和４年度で３７回目。

【一般部門】
はじめて受賞する団体を対象とした部門

【大賞部門】
過去に受賞した団体で、その後の活動が発展している団体を対象とした部門

（参考）手づくり郷土賞の過去の受賞案件は以下のURLに掲載しています。
http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/tedukuri/

◆手づくり郷土賞選定委員会

有識者からなる手づくり郷土賞選定委員会により、幅広い観点から審査し選定します。

手づくり郷土賞選定委員会（令和４年度）

委員長	野澤　康	工学院大学　建築学部まちづくり学科　教授
委員	河野　まゆ子	株式会社JTB総合研究所　主席研究員
委員	小浦　久子	神戸芸術工科大学　芸術工学部環境デザイン学科　教授
委員	斉藤　俊幸	イング総合計画株式会社　代表取締役／地域再生マネージャー
委員	坂元　英俊	一般社団法人　地域観光研究所　代表理事
委員	真田　純子	東京工業大学　環境・社会理工学院　准教授

（敬称略）